

## 歩掛参考見積募集要領

次のとおり歩掛参考見積を募集します。

令和7年5月14日

独立行政法人水資源機構

筑後川上流総合管理所長 前田 剛宏

### 1. 目的

この歩掛参考見積の募集は、筑後川上流総合管理所で予定している業務の積算の参考とするための作業歩掛を募集するものです。

### 2. 参考見積書提出の資格

- (1) 水資源機構における令和7・8年度一般競争（指名競争）参加資格業者の認定を受けていることとします。
- (2) 営業に関し法律上必要とされる資格を有していることとします。
- (3) 水資源機構から「工事請負契約に係る指名停止等の措置要領」（平成6年5月31日付け6経契第443号）に基づき、筑後川水系関連区域において指名停止を受けていないこととします。

### 3. 参考見積書の提出等

参考見積書は、次に従い提出してください。

#### (1) 提出方法

原則、電子メール（社印省略可）により提出するものとします。

参考見積書の様式は問いませんが、提出にあたっては、参考見積書または電子メールに担当部署及び氏名の記載をお願い致します。

なお、参考見積書は、作業項目毎に必要な技術者の員数及び単価等を記載して提出して下さい。

#### (2) 提出先及び提出期間

【参考見積書の宛名】

独立行政法人水資源機構 筑後川上流総合管理所長 前田 剛宏 宛

【担当】経理課 椛島、福田

〒838-0012 福岡県朝倉市江川 1660-67

TEL 0946-25-0113 FAX 0946-25-0113

電子メール nyukei\_chikugojouryu@water.go.jp

【提出期間】令和7年5月15日(木) から令和7年5月27日(火)16時 まで

### 4. 参考見積内容

#### (1) 業務作業項目、作業内容

業務内容の詳細については、別紙-1 に示す業務内容について、別紙-2 の項目毎に必要な技術者の員数及び単価等を検討ください。

#### (2) 業務費の構成と歩掛見積徴取範囲

- ① 本歩掛参考見積を適用する業務費の構成は、当機構が別に制定する「積算基準及

び積算資料（各編）」（以下「基準書」という。）によるものとします。

② 歩掛参考見積徴取範囲は基準書で定義されている直接人件費のうち、上記（1）「業務作業項目、作業内容」を実施する為に必要な技術者、資機材の人数等を徴取します。

③ 見積の有効期限は、令和8年3月31日まででお願いします。

(3) 技術者の職種と定義

国土交通省が公表している「令和7年度設計業務委託等技術者単価」における「技術者の職種区分定義」によるものとします。

5. 募集要領に対する質問

この募集要領に対する質問がある場合においては、次に従い、電子メール（様式は自由）により提出してください。

(1) 提出期間：令和7年5月15日(木) から令和7年5月19日(月) 16時まで

(2) 提出先：3. (2) に同じ。

6. 質問に対する回答

質問に対する回答書は、次のとおり閲覧に供します。

(1) 閲覧期間：令和7年5月21日(水) から令和7年5月27日(火) まで

(2) 閲覧方法：ホームページに掲載します。

7. 参考見積書作成及び提出に要する費用

参考見積提出者の負担とします。

8. その他

(1) この参考見積書をご提出いただいたことで、業務の指名又は競争参加資格をお約束するものではありません。

ご提出いただいた参考見積書は、業務積算の目的以外には使用いたしません。

(2) 提出していただいた参考見積書についてヒアリングを実施することがあります。

## 別紙－ 1

### 参考見積

本機器は、別図－ 1 “システム構成図”により、地すべり観測計器の追加設置を行い、それらから得られるデータを小型観測局から送信し、パケット通信、インターネット経由で、寺内ダム管理所に設置する監視サーバに、自動的に受信するためのものである。

なお、機器の配置等については、別図－ 2、 3 のとおりとする。

### 歩掛見積

#### 1-1 設置型孔内傾斜計設置

##### ① 設置型孔内傾斜計設置

次に示すガイド管の設置深度に、設置型孔内傾斜計を設置するものとする。

また、ガイド管内へ泥水が入るのを防ぐため、底部は、アルミガイド管用キャップを設置し、頭部はパテ等で塞ぐようにするものとする。

ボーリング番号	ボーリング掘削長	観測計器の設置深度
L-22-10	29m	4m、10m、12m、14m、20m
L-22-11	40m	4m、10m、15m、25m、34m

#### 1-2 地下水位計設置

##### ① 地下水位計設置

次に示す有孔塩ビ管の設置深度に、地下水位計（圧力式）を設置するものとする。

また、有孔塩ビ管内へ泥水が入るのを防ぐため、底部と頭部にキャップを設置するものとする。

ボーリング番号	ボーリング掘削長	観測計器の設置深度
L-22-10w	19m	19m

#### 1-3 ボアホールカメラ

##### ① ボアホールカメラ撮影

ボーリングを実施した孔壁の状態を確認するため、ボアホールカメラ撮影を実施する。撮影は着岩以深を対象とする。

##### ② ボアホールカメラ解析

ボアホールカメラ撮影で得られた孔壁画像を解析し、ボーリング孔における地層・断層・すべり面候補等の不連続面の走向・傾斜を明確にするため、不連続面解析図、不連続面ステレオネット図を作成するとともに、地質層序・地質構造検討に資する基礎データを整理する。

#### 1-4 機械ボーリング

##### ① 高品質ボーリング

1. 削孔に当たっては、原則として全コア採取するものとする。また、コアの破損を極力なくすよう努めるものとする。
2. ボーリング調査で利用する水は、循環利用するものとする。また、削孔に伴って発生する濁水に対して、沈砂池等の濁水対策を講じること。
3. 貯水地内に油が流出しないように注意するとともに、作業期間中は吸着マット等を現場に常備すること。
4. ボーリングコアは、コア箱に整理し、納めるものとする。
5. コア箱は蓋が取り外せる抜差蝶番とし、取手があるものとする。

## 測定機器単価見積

### 1. 観測機器

#### 1-1. 設置型孔内傾斜計（多段式傾斜計）

測定軸数：2方向

測定範囲：±10°

防水構造：保護等級 IP68 相当

その他：アレスタ内蔵

#### 1-2. 設置型孔内傾斜計（多段式傾斜計）用ケーブル

##### 1-1. 設置型孔内傾斜計（多段式傾斜計）用ケーブル

#### 1-3. 地下水位計

測定方式：圧力式

測定範囲：0～20m

測定精度：±0.1%FS

#### 1-4. 地下水位計用ケーブル

##### 1-3. 地下水位計専用のケーブル

専用ケーブル材質：ポリウレタン（大気開放パイプ内蔵）φ8mm

### 2. 観測用資材

#### 2-1. ガイド管①

地中に埋設して設置型孔内傾斜計を挿入するための管

外径 52mm

アルミガイド管 L=3m

#### 2-2. ガイド管②

地中に埋設して設置型孔内傾斜計を挿入するための管

外径 52mm

アルミガイド管 L=2m

#### 2-3. ガイド管③

地中に埋設して設置型孔内傾斜計を挿入するための管

外径 52mm

アルミガイド管 L=1m

#### 2-4. ガイド管ソケット

アルミガイド（ガイド管①②③）を接続するためのソケット

#### 2-5. アルミガイド管用キャップ

アルミガイド（ガイド管①②③）管内に泥水が入るのを防止するもの。

#### 2-6. ロッドエンド

アルミガイド（ガイド管①②③）内の設置型孔内傾斜計（多段式傾斜計）の最上部の固定に使用するもの。

#### 2-7. 中継ロッド①

アルミガイド（ガイド管①②③）内の設置型孔内傾斜計（多段式傾斜計）を多段に接続するためのロッド

2m 用

#### 2-8. 中継ロッド②

アルミガイド（ガイド管①②③）内の設置型孔内傾斜計（多段式傾斜計）を多段に接続するためのロッド

1m 用

#### 2-9. 延長ロッド①

中継ロッド（中間ロッド①②）を延長するためのロッド

2m 用

#### 2-10. 延長ロッド②

中継ロッド（中間ロッド①②）を延長するためのロッド

1m 用

### 3. データロガー

#### 3-1. 避雷器①

設置型孔内傾斜計（多段式傾斜計）とデータロガー間に挿入し雷害を防ぐ機能を有するもの。

#### 3-2. 避雷器②

地下水位計とデータロガー間に挿入し雷害を防ぐ機能を有するもの。

### 3-3. 電源・通信用避雷器①

データロガーと計器用 HUB 間に挿入し雷害を防ぐ機能を有するもの。

### 3-4. データロガー① 参考規格：NetLG-401N、401N+

設置型孔内傾斜計及び地下水位計と接続し、以下の機能を有するもの。

なお、必要に応じ増設ユニットを加えるものとする。

設置型孔内傾斜計(L-22-10) 2ch×5=10ch

地下水位計 (L-22-10W) 1ch

記録間隔 1 時間

### 3-5. 収納ボックス①

3-4.データロガー①等を収納するものとし、開閉できる構造とする。

単管取付型(屋外用)

単管パイプ、取付金具を含む

寸法 横 500×縦 650×深さ 200 (mm) 程度

材質 PC+ABS 樹脂

### 3-6. データロガー② 参考規格：NetLG-401N、401N+

設置型孔内傾斜計と接続し、以下の機能を有するもの。

なお、必要に応じ増設ユニットを加えるものとする。

設置型孔内傾斜計(L-22-11) 2ch×5=10ch

記録間隔 1 時間

### 3-7. 収納ボックス②

3-6.データロガー②等を収納するものとし、開閉できる構造とする。

単管取付型(屋外用)

単管パイプ、取付金具を含む

寸法 横 500×縦 650×深さ 200 (mm) 程度

材質 PC+ABS 樹脂

## 4. 小型観測局

### 4-1. 電源・通信用避雷器②

データロガーと計器用 HUB 間に挿入し雷害を防ぐ機能を有するもの。

### 4-2. 計器用 HUB 参考規格：NetHB-1

通信ポート数 6 ポート

動作温度範囲 -20°C～55°C(ただし結露はしないこと)  
外形寸法 123(H)×174(W)×64(D) (寸法公差±1mm)  
重さ 約 800g

4-3. ケーブル 参考規格：FCPEV-S 0.9-2P

データロガーと計器用 HUB 間  
構造 2 対  
サイズ 0.9mm

4-4. 収納ボックス③

4-1.電源・通信用避雷器②、4-2.計器 HUB が収納できるものとし、開閉できる構造とする。

単管取付型(屋外用)  
取付金具を含む  
寸法 横 500×縦 425×深さ 180 (mm) 程度

4.5. 太陽電池パネル①

太陽電池パネルを用いて、データロガー、設置型孔内傾斜計、地下水位計等に電力を供給するものとする。

出力：1.3W

4.6. 太陽電池パネル②

太陽電池パネルを用いて、データロガー、設置型孔内傾斜計、地下水位計等に電力を供給するものとする。

出力：2.6W

4.7. 太陽電池パネル③

太陽電池パネルを用いて、データロガー、設置型孔内傾斜計、地下水位計等に電力を供給するものとする。

出力：3.9W

以上

別紙-2 歩掛見積

以下の項目について回答をお願いします。

直接人件費に記載している構成は記載例であるため、適宜追加・削除をお願いします。

材料費および機械等損料は、率計上もしくは積上げにて算出をお願いします。

1) 歩掛見積

1.設置型孔内傾斜計設置 L-22-10 観測機器設置数：5基

1孔当たり

種別	細別	単位	数量	備考
直接人件費	地質調査技師	人		
	主任地質調査員	人		
	地質調査員	人		
機械等損料		式		直接人件費×○%

※ガイド管設置の歩掛は含めない（計上しない）こと。

設置型孔内傾斜計設置における深度の補正係数

設置型孔内傾斜計設置を算出する以下の深度に対する補正係数を記載してください。

設置型孔内傾斜計設置＝単価（1孔）×補正係数

深度（m）	20m未満	20m以上30m未満	30m以上40m未満	40m以上50m未満
補正係数				

1.設置型孔内傾斜計設置 L-22-11 観測機器設置数：5基

1孔当たり

種別	細別	単位	数量	備考
直接人件費	地質調査技師	人		
	主任地質調査員	人		
	地質調査員	人		
機械等損料		式		直接人件費×○%

※ガイド管設置の歩掛は含めない（計上しない）こと。

設置型孔内傾斜計設置における深度の補正係数

設置型孔内傾斜計設置を算出する以下の深度に対する補正係数を記載してください。

設置型孔内傾斜計設置＝単価（1孔）×補正係数

深度（m）	20m未満	20m以上30m未満	30m以上40m未満	40m以上50m未満
補正係数				

2.地下水位計設置 観測機器設置数：1基

1孔当たり

種別	細別	単位	数量	備考
直接人件費	地質調査技師	人		
	主任地質調査員	人		
	地質調査員	人		
機械等損料		式		直接人件費×○%

※有孔塩ビ管設置の歩掛は含めない（計上しない）こと。

地下水位計設置における深度の補正係数

地下水位計設置を算出する以下の深度に対する補正係数を記載してください。

地下水位計設置＝単価（1孔）×補正係数

深度（m）	20m未満	20m以上30m未満	30m以上40m未満	40m以上50m未満
補正係数				

### 3.ボアホールカメラ撮影

100m/孔当たり

種別	細別	単位	数量	備考
直接人件費	地質調査技師	人		
	主任地質調査員	人		
	地質調査員	人		
材料費		式		直接人件費×○%
機械等損料		式		直接人件費×○%

ボアホールカメラ撮影における測点深度の補正係数

ボアホールカメラ撮影単価を算出する以下の測点深度に対する補正係数を記載してください。

ボアホールカメラ撮影単価＝単価（100m/孔）×補正係数

測点深度（m）	0m以上5m以下	5m以上10m以下	10m以上20m以下	20m以上30m以下	30m以上40m以下	40m以上50m以下
補正係数						

#### 4.ボアホールカメラ解析

100m/孔当たり

種別	細別	単位	数量	備考
直接人件費	主任技師	人		
	技師B	人		
	技術員	人		
材料費	雑費	式		直接人件費×○%

ボアホールカメラ解析における測点深度の補正係数

ボアホールカメラ解析単価を算出する以下の測点深度に対する補正係数を記載してください。

ボアホールカメラ解析単価＝単価（100m/孔）×補正係数

測点深度（m）	0m以上5m以下	5m以上10m以下	10m以上20m以下	20m以上30m以下	30m以上40m以下	40m以上50m以下
補正係数						

5. 高品質ボーリング

名称	規格	単位	数量	単価（円）	備考
土質ボーリング	φ86mm オールコアボーリング 深度 50m 以下 鉛直下方 粘性土	m	1		
土質ボーリング	φ86mm オールコアボーリング 深度 50m 以下 鉛直下方 礫混じり土砂	m	1		
岩盤ボーリング	φ86mm オールコアボーリング 深度 50m 以下 鉛直下方 軟岩	m	1		
岩盤ボーリング	φ86mm オールコアボーリング 深度 50m 以下 鉛直下方 中硬岩	m	1		
岩盤ボーリング	φ86mm オールコアボーリング 深度 50m 以下 鉛直下方 硬岩	m	1		
岩盤ボーリング	φ86mm オールコアボーリング 深度 50m 以下 鉛直下方 破砕帯	m	1		

## 2) 日当たり作業量

名称	規格	単位	数量	備考
設置型孔内傾斜計の設置	L-22-10	孔		
設置型孔内傾斜計の設置	L-22-11	孔		
地下水水位計の設置		基		
ボアホールカメラ撮影		m/孔		
ボアホールカメラ解析		m/孔		
高品質ボーリング (土質ボーリング)	φ86mm オールコアボーリング 深度 50m 以下 鉛直下方 粘性土	m		
高品質ボーリング (土質ボーリング)	φ86mm オールコアボーリング 深度 50m 以下 鉛直下方 礫混じり土砂	m		
高品質ボーリング (岩盤ボーリング)	φ86mm オールコアボーリング 深度 50m 以下 鉛直下方 軟岩	m		
高品質ボーリング (岩盤ボーリング)	φ86mm オールコアボーリング 深度 50m 以下 鉛直下方 中硬岩	m		
高品質ボーリング (岩盤ボーリング)	φ86mm オールコアボーリング 深度 50m 以下 鉛直下方 硬岩	m		
高品質ボーリング (岩盤ボーリング)	φ86mm オールコアボーリング 深度 50m 以下 鉛直下方 破碎帯	m		

測定機器単価見積

以下の項目について回答をお願いします。

名称	規格	単位	数量	単価	備考
設置型孔内傾斜計 (多段式傾斜計)	アレスタ内蔵	基	1		
設置型孔内傾斜計(多段式 傾斜計)用ケーブル		m	1		
地下水位計	圧力式	基	1		
地下水位計用ケーブル	ポリウレタン(大気開放パイ プ内蔵)φ8mm	m	1		
ガイド管①	L=3m	本	1		
ガイド管②	L=2m	本	1		
ガイド管③	L=1m	本	1		
ガイド管ソケット	ガイド管①②③用	個	1		

アルミガイド管用 キャップ	ガイド管①②③用	個	1		
ロッドエンド	ガイド管①②③用	本	1		
中継ロッド①	2 m用	本	1		
中継ロッド②	1 m用	本	1		
延長ロッド①	2 m用	本	1		
延長ロッド②	1 m用	本	1		
避雷器①		個	1		L22-10 L22-11
避雷器②		個	1		L22-10W
電源・通信用避雷器①		個	1		
データロガー①	参考規格 : NetLG-401N	台	1		

データロガー① (増設ユニット)	参考規格：401N+	台	1		
収納ボックス①	横 500×縦 650×深さ 200 (mm) 程度	個	1		
データロガー②	参考規格：NetLG-401N	台	1		
データロガー② (増設ユニット)	参考規格：401N+	台	1		
収納ボックス②	横 500×縦 650×深さ 200 (mm) 程度	個	1		
電源・通信用避雷器②		個	1		
計器用 HUB	参考規格：NetHB-1	台	1		
ケーブル	参考規格：FCPEV-S 0.9-2P	m	1		
収納ボックス③	横 500×縦 425×深さ 180 (mm) 程度	個	1		
太陽電池パネル①	出力：13W	枚	1		

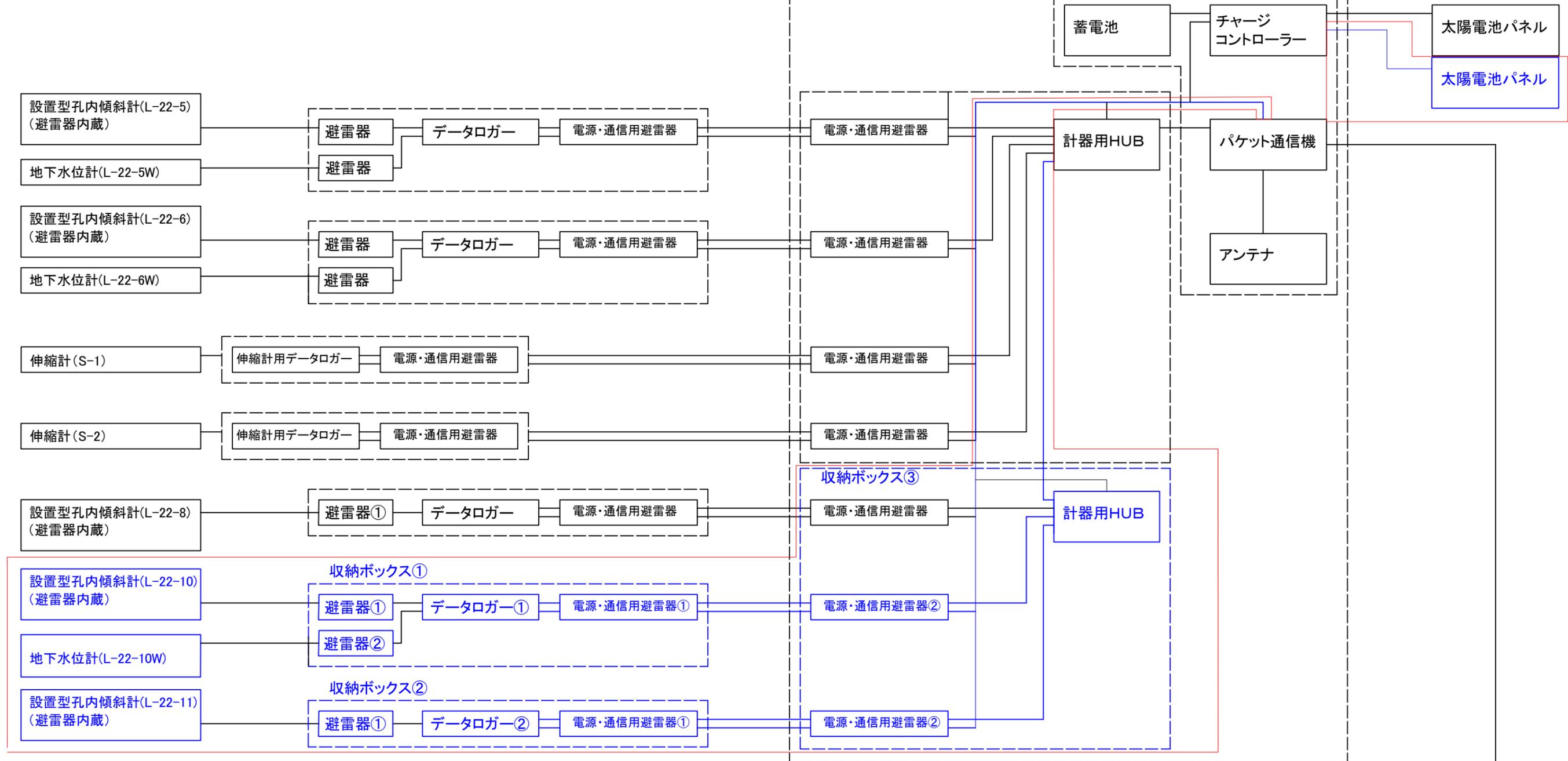
太陽電池パネル②	出力：26W	枚	1		
太陽電池パネル③	出力：39W	枚	1		

以上

# 別図-1 システム構成図

○観測箇所

○小型観測局

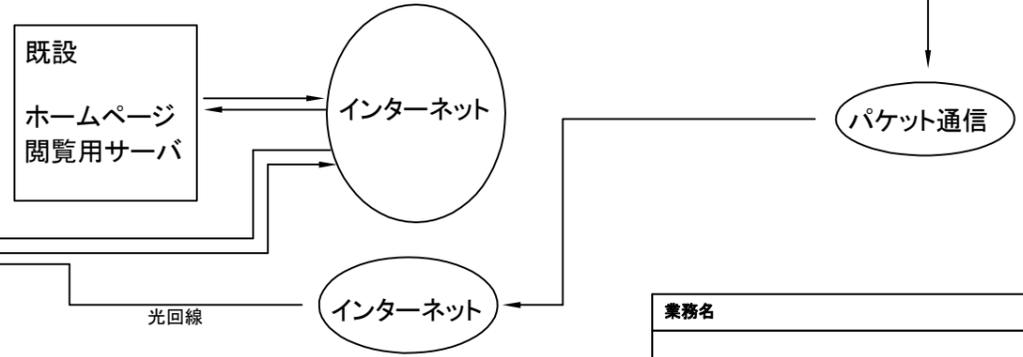
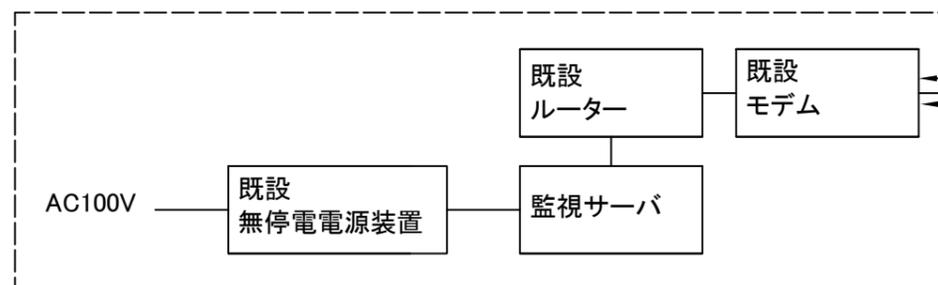


青色文字:見積対象 赤色囲い:追加設置

凡例



○監視局 (寺内ダム管理所)



業務名	
名称	
登録番号	整理番号

# 別図-2 位置図



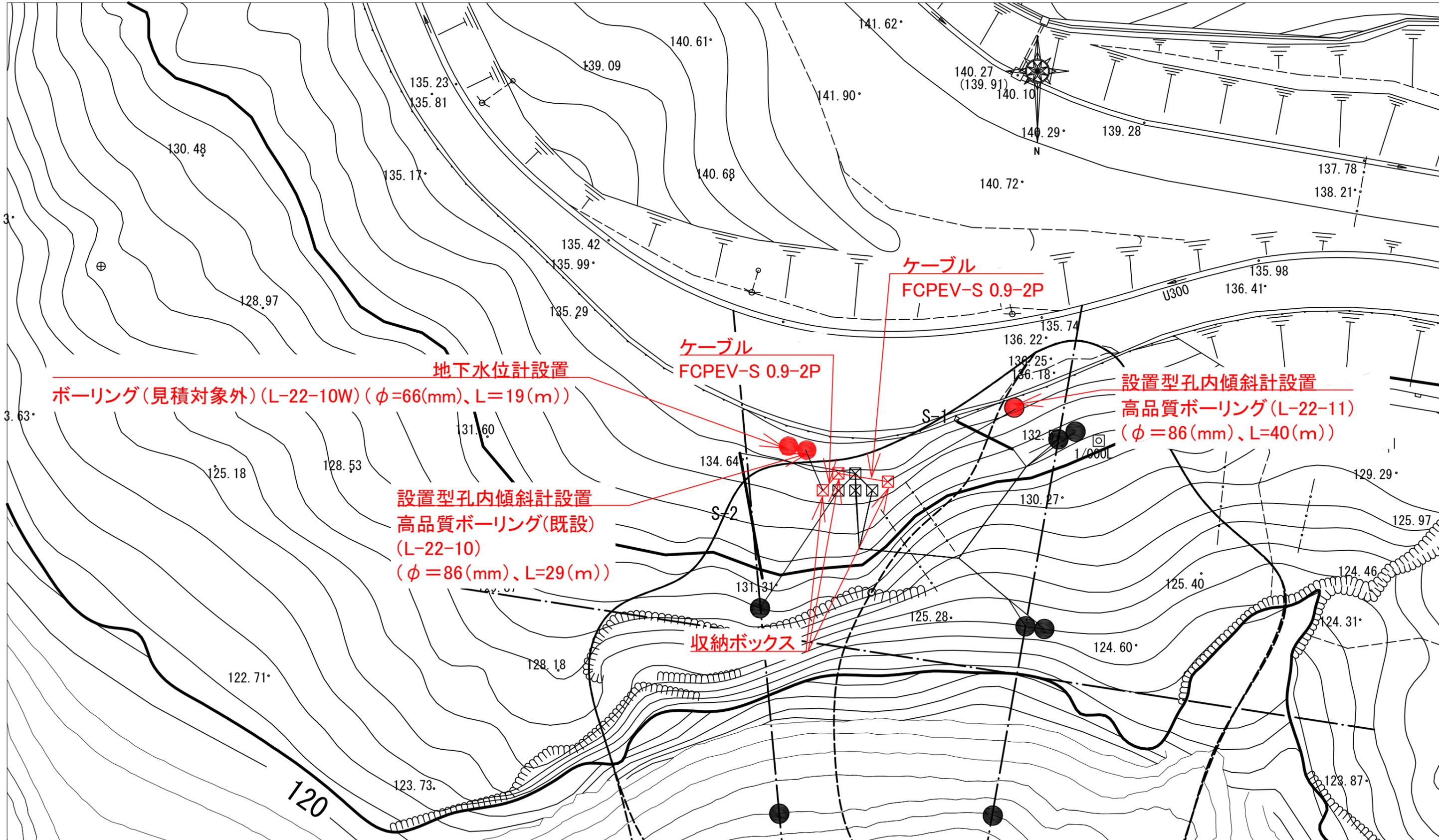
寺内ダム管理所

施工場所

業務場所 福岡県朝倉市荷原地内

業務名	
名称	
登録番号	整理番号

# 別図-3 平面図



業務名	
名称	
登録番号	整理番号